

基礎から  
専門分野へ  
段階的に学べる  
4年間

### 看護専門科目群

看護の専門的知識と技術を学び、看護実践能力の修得や、看護専門職としての価値と専門性を発展させるための科目群。看護専門分野Ⅰ、看護専門分野Ⅱ、看護の統合分野と実践分野で構成しています。

### 専門基礎科目群

健康にかかわる基礎的知識や、看護の専門知識・技術の基礎となる科目群。人体の構造と機能、臨床医学、保健医療福祉などの理解を深めるための科目で構成しています。

### 人間の理解と 科学的思考科目群

人間を総合的に捉え、高い倫理観を持ち、調和のとれた人間形成を目指した科目群。人文・社会科学、自然科学、外国語、健康・スポーツ、基礎セミナーなどの科目で構成しています。

### 教職に関する科目

## 1年次

看護の対象である人間や環境・社会について理解を深め、科学的思考力の基礎となる問題解決のための方法を学びます。そして、看護の本質や役割、看護倫理の基礎、看護学の重要な概念や理論などの基本的な考え方、調和のとれた人間関係を構築するためのスキルなどを学びます。

前期	後期
●基礎看護方法論I	
●基礎看護学実習I	
●看護学概論	●基礎看護方法論II
○看護人間工学	●ヘルスアセスメント ●成人看護学概論 ●老年看護学概論
-通年-	
●在宅看護概論	
●在宅看護論実習I	

## 2年次

看護を実践する上で不可欠な知識である病気の原因、回復過程、心の機能と健康などについて幅広く学びます。これらの知識を基礎とした看護の対象を

前期
●基礎看護方法論III
●基礎看護方法論IV
●成人看護方法論I
●成人看護方法論II
●老年看護方法論I
●老年看護方法論II
●母性看護学概論
●小児看護学概論
●精神看護学概論
●公衆衛生看護学概論
○公衆衛生看護活動展開I
●医療と安全管理
●基礎看護学実習II

## 3年次

ライサイクルや疾患回復過程の視点から理解する方法や看護実践の基礎となる看護提供システム、チーム医療における他職種との連携や協働のしくみについても学びを深めます。

前期
●成人看護方法論III
●母性看護方法論I
●母性看護方法論II
●小児看護方法論I
●小児看護方法論II
●精神看護方法論I
●精神看護方法論II
○学校保健
○産業保健
○公衆衛生看護活動
○公衆衛生看護活動展開II
●地域ケアシステム論
●在宅看護方法論I
●在宅看護方法論II
●健康教育論

前期
●成人看護学実習I
●成人看護学実習II
●老年看護学実習
●母性看護学実習
●小児看護学実習
●精神看護学実習
●在宅看護論実習II

後期
○公衆衛生看護管理論
○養護概説
●看護倫理
●家族看護論
●看護研究
○健康相談活動の理論

## 4年次

学修の集大成として、今まで学んださまざまな知識や技術を理解・統合することで学修課題を明確にし、看護の現象を深く理解する力を養います。また、国際社会での健康問題や災害看護の意義や役割についても理解を深め、実際にこれから医療における課題について学びます。

●必須 ○選択 ■ 実習(スケジュール)

前 期	後 期
○リハビリテーション看護論 ●看護管理と継続教育 ●看護研究ゼミナールI	○感染看護特論 ○国際看護特論 ○災害看護特論 ●看護研究ゼミナールII ○がん看護論 ○クリティカルケア論 ○ホスピスケア論
○公衆衛生看護学実習II	●統合実習

前 期	後 期
○医用工学の基礎 ○医用工学の理論	○英会話コミュニケーション ○韓国語入門 ○ドイツ語入門

○発達心理学  
○教育心理学  
○教職論  
○特別支援教育論  
○教育基礎論

○教育制度論  
○総合的な学習の時間と特別活動の指導法  
○生徒指導論

○道徳の指導法  
○情報通信技術を活用した教育の理論と方法  
○教育の方法と技術  
○教育課程論  
○教育相談

○養護実習

○教職実践演習(養護教諭)

※教職に関する科目は変更になる場合があります。